



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年2月3日

上場会社名 麻生フォームクリート株式会社  
 コード番号 1730 URL <https://www.asofoam.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役人事総務部長  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 花岡 浩一

(氏名) 井上 喜博

TEL 044-422-2061

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	3,571	25.6	223	—	232	—	160	—
2020年3月期第3四半期	2,842	△9.5	△5	—	0	—	△6	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	46.88	—	—	—
2020年3月期第3四半期	△1.86	—	—	—

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%
2021年3月期第3四半期	4,030	1,500	1,500	1,354	37.2	39.7
2020年3月期	3,413	1,354	1,354	1,354	39.7	39.7

(参考)自己資本 2021年3月期第3四半期 1,500百万円 2020年3月期 1,354百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
2020年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00	5.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

## 3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	16.6	190	193.9	200	186.3	140	251.6	41.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	3,420,000 株	2020年3月期	3,420,000 株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	6,232 株	2020年3月期	6,231 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	3,413,768 株	2020年3月期3Q	3,413,797 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. 補足情報	8
受注高、完成工事高及び繰越工事高	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い経済活動が停滞し、雇用・所得環境が悪化したことから個人消費も冷え込み、また設備投資の手控えや雇用調整の動きも広がり景気は厳しい状況となりましたが、政府や自治体の景気対策等により生産や消費の持ち直しの兆しが見られたところに、同感染症の感染が再拡大し、景気は不透明な状況で推移いたしました。

建設業界におきましては、国内建設市場は東京オリンピック・パラリンピック関連工事が一巡したものの、都市部の再開発事業や地域の防災・減災、国土強靱化工事が下支えしており、政府建設投資は新型コロナウイルス感染症による影響は限定的で堅調に推移しましたが、民間建設投資は景気の先行き不透明感から設備投資を抑制する動きが広がり、様子見の状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社は、同感染症感染予防に最大限努めながら、前事業年度から取り組んでいる気泡コンクリート工事と地盤改良工事の営業活動及び施工それぞれの一体化を一層推進し、営業と施工の効率化に取り組み、受注量の獲得と収益性の改善をはかってまいりました。

その結果、同感染症感染拡大予防に伴う工事の中断や遅延などでの当社への影響は軽微であり、当第3四半期累計期間の業績は、受注高が3,162百万円（前年同四半期比9.4%増）、売上高が3,571百万円（前年同四半期比25.6%増）となりました。

各段階の損益につきましては、施工の効率化に努めたことや、地盤改良工事より利益率が高い気泡コンクリート工事の完成工事高の増加などで完成工事総利益率が改善し、また新型コロナウイルス感染症の感染予防のための不要不急の出張控えや、リモート会議の推進による交通費の減少などで販売費及び一般管理費が減少したこともあり、営業利益223百万円（前年同四半期は営業損失△5百万円）、経常利益232百万円（前年同四半期比25,377.3%増）、法人税等調整額を34百万円計上したことにより四半期純利益160百万円（前年同四半期は四半期純損失△6百万円）となりました。

主要な工事の状況は、次のとおりであります。

#### (気泡コンクリート工事)

気泡コンクリート工事は、公共投資の動向に影響を受ける傾向があります。当第3四半期累計期間においては公共工事の請負金額が堅調に推移したことで、それぞれの工種で受注が順調に推移し、受注高は軽量盛土工事が1,285百万円（前年同四半期比27.0%増）、管路中詰工事が482百万円（前年同四半期比16.1%増）、空洞充填工事が793百万円（前年同四半期比139.6%増）となり、気泡コンクリート工事全体の受注高は2,561百万円（前年同四半期比45.6%増）となりました。

完成工事高につきましては、当第3四半期に同感染症感染拡大予防に伴う発注の遅れや令和2年7月豪雨により施工時期がずれ込んだ工事への対応もあり、工事施工が超繁忙となり、当第3四半期累計期間では軽量盛土工事の完成工事高が1,503百万円（前年同四半期比24.1%増）、管路中詰工事の完成工事高が539百万円（前年同四半期比9.1%増）、空洞充填工事の完成工事高が570百万円（前年同四半期比120.5%増）となり、気泡コンクリート工事全体の完成工事高は2,613百万円（前年同四半期比33.0%増）となりました。

#### (地盤改良工事)

価格競争が激しく、また傾向的に民間建築分野の比率が高いため受注高は587百万円（前年同四半期比47.4%減）となりました。

完成工事高につきましては、前事業年度からの繰越工事が多かったことで809百万円（前年同四半期比6.6%増）となりました。

なお、当社の主たる事業の特徴として、完成工事高の割合が下半期に偏るといふ傾向があります。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ617百万円増加し4,030百万円となりました。その主な要因としましては、繰延税金資産が36百万円減少したものの、現金預金が112百万円、受取手形が93百万円、完成工事未収入金が363百万円、リース資産（有形固定資産）が32百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ471百万円増加し2,530百万円となりました。その主な要因としましては、支払手形が24百万円、賞与引当金が19百万円減少したものの、電子記録債務が218百万円、工事未払金が97百万円、借入金が131百万円、リース債務が36百万円、未払法人税等が18百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ145百万円増加し1,500百万円となりました。その主な要因としましては、配当金の支払いを行った一方、当第3四半期累計期間に四半期純利益を計上したことにより、利益剰余金が増加したことなど

によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期業績予想につきましては、2020年5月13日に公表しました業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（2021年2月3日）公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	508,195	620,930
受取手形	205,675	299,075
電子記録債権	349,486	365,895
完成工事未収入金	628,606	991,744
売掛金	5,318	—
未成工事支出金	1,898	6,804
原材料及び貯蔵品	59,037	68,525
前払費用	22,245	21,905
その他	7,384	13,859
流動資産合計	1,787,848	2,388,741
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	50,055	48,229
構築物（純額）	951	1,423
機械及び装置（純額）	160,965	181,987
車両運搬具（純額）	1,040	852
工具、器具及び備品（純額）	7,309	8,872
土地	1,100,858	1,100,858
リース資産（純額）	36,422	68,773
有形固定資産合計	1,357,603	1,410,997
無形固定資産		
ソフトウェア	4,441	3,538
リース資産	4,440	1,110
電話加入権	2,350	2,350
無形固定資産合計	11,232	6,998
投資その他の資産		
投資有価証券	15,544	19,783
関係会社出資金	36,668	36,668
破産更生債権等	4,553	4,553
長期前払費用	2,056	1,866
繰延税金資産	119,569	83,458
敷金及び保証金	14,758	14,362
ゴルフ会員権	83,505	83,505
貸倒引当金	△19,968	△19,968
投資その他の資産合計	256,687	224,229
固定資産合計	1,625,523	1,642,225
資産合計	3,413,371	4,030,967

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	290,933	222,760
電子記録債務	313,972	532,395
工事未払金	394,511	491,935
短期借入金	8,000	32,000
1年内返済予定の長期借入金	235,200	232,284
リース債務	24,236	29,761
未払金	65,472	67,710
未払費用	5,219	9,782
未払法人税等	14,545	33,139
未払消費税等	40,589	31,207
未成工事受入金	13,156	5,479
設備関係支払手形	761	44,428
賞与引当金	27,758	7,908
その他	1,896	10,121
流動負債合計	1,436,250	1,750,913
固定負債		
長期借入金	337,700	448,574
リース債務	19,952	51,001
退職給付引当金	232,001	241,462
役員退職慰労引当金	32,924	38,548
固定負債合計	622,579	779,586
負債合計	2,058,829	2,530,500
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	209,200	209,200
資本剰余金		
資本準備金	180,400	180,400
資本剰余金合計	180,400	180,400
利益剰余金		
利益準備金	24,050	24,050
その他利益剰余金		
別途積立金	885,000	885,000
固定資産圧縮積立金	803	723
繰越利益剰余金	62,487	205,528
利益剰余金合計	972,341	1,115,301
自己株式	△1,552	△1,553
株主資本合計	1,360,388	1,503,348
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,846	△2,881
評価・換算差額等合計	△5,846	△2,881
純資産合計	1,354,541	1,500,467
負債純資産合計	3,413,371	4,030,967

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	2,842,902	3,571,483
完成工事高	2,799,245	3,549,045
商品売上高	43,656	22,437
売上原価	2,352,250	2,858,509
完成工事原価	2,322,908	2,844,513
商品売上原価	29,342	13,996
売上総利益	490,652	712,973
完成工事総利益	476,337	704,532
商品売上総利益	14,314	8,441
販売費及び一般管理費	496,326	489,487
営業利益又は営業損失(△)	△5,674	223,486
営業外収益		
受取利息	2	1
受取手数料	216	169
受取配当金	873	5,291
受取技術料	9,184	8,029
雑収入	476	541
営業外収益合計	10,753	14,033
営業外費用		
支払利息	3,520	4,284
為替差損	150	—
支払技術料	140	370
雑支出	354	185
営業外費用合計	4,165	4,840
経常利益	913	232,680
特別損失		
固定資産除却損	41	13
投資有価証券評価損	1,981	—
特別損失合計	2,022	13
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△1,108	232,666
法人税、住民税及び事業税	1,366	37,800
法人税等調整額	3,857	34,836
法人税等合計	5,224	72,636
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,333	160,029

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

### 3. 補足情報

#### 受注高、完成工事高及び繰越工事高

##### (1) 受注高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	1,759,613	60.9	2,561,766	81.0	2,559,887	61.9
地盤改良工事	1,116,765	38.6	587,917	18.6	1,425,360	34.4
その他工事	14,850	0.5	12,780	0.4	153,910	3.7
合計	2,891,228	100.0	3,162,463	100.0	4,139,158	100.0

##### (2) 完成工事高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	1,965,100	70.2	2,613,353	73.6	2,617,785	66.0
地盤改良工事	759,566	27.1	809,432	22.8	1,247,551	31.5
その他工事	74,578	2.7	126,259	3.6	100,369	2.5
合計	2,799,245	100.0	3,549,045	100.0	3,965,706	100.0

##### (3) 繰越工事高

(単位：千円、%)

期別 工事別	前第3四半期累計期間末 2019年12月31日		当第3四半期累計期間末 2020年12月31日		前事業年度末 2020年3月31日	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
気泡コンクリート工事	576,490	55.2	672,492	91.0	724,078	64.3
地盤改良工事	449,972	43.1	49,066	6.6	270,582	24.0
その他工事	17,845	1.7	17,635	2.4	131,114	11.7
合計	1,044,307	100.0	739,194	100.0	1,125,776	100.0

- (注) 1. 前事業年度以前に受注した工事で、契約の変更により請負金額の増減がある場合は、当四半期受注高にその増減額を含んでおります。したがって、当四半期完成工事高にもかかる増減額が含まれております。
2. 当四半期末繰越工事高は（前事業年度末繰越工事高+当四半期受注工事高-当四半期完成工事高）に一致しております。